



2026年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 A & D ホロンホールディングス
代 表 者 名 代表取締役執行役員社長 森島 泰信
コード番号 7745 (東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 高橋 浩二
電 話 番 号 048-593-1590

海外連結子会社における不適切な支出事案に関するお知らせ

このたび、当社の韓国連結子会社であるA&D SCALES CO., LTD. (以下「当該子会社」といいます。)において不適切な支出が行われていた可能性が高い事案が判明いたしました。本件につきましては、社内調査および関係先への確認を行い、現時点において当社として把握している事実関係、対応方針および業績への影響を以下のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

記

1. 不適切な支出の概要

2026年4月29日、当該子会社における預金残高と帳簿残高との相違について監査人より指摘を受けたことを契機として、社内調査を実施いたしました。その結果、当該子会社の従業員(以下「当該従業員」といいます。)1名による、資金管理上不適切な支出が行われていた事実が判明いたしました。

当該従業員は、2026年2月から同年4月にかけて複数回にわたり、当該子会社の預金を所定の承認手続きを経ることなく引き出し、私的目的に充当していたものと当社では認識しております。

当該不適切な支出の総額は、現時点で約25億ウォン(約270百万円)と見込んでおります。

2. 今後の対応について

当該子会社では、当該従業員本人および関係者への聞き取り、資金移動の確認等を行い、本件に関与したと認められる者は当該従業員1名に限られるとの認識に至っております。また、当該子会社は、2026年4月29日、横領の疑いがある事案として、韓国・忠清北道の所轄警察署に相談および届出を行い、受理されております。

当社グループといたしましては、本件を重大なコンプライアンス事案と受け止めており、すでに資金管理体制および内部統制の見直しを開始しております。今後は、再発防止策の立案と徹底を図るとともに、グループ全体での管理体制を強化してまいります。

当社グループでは、本件について引き続き調査を行っており、不適切な支出総額に変更が生じる可能性がございます。

3. 業績に与える影響について

本件に関連する損害額は、約270百万円と見込んでおりますが、2026年3月31日までの損害額である243百万円を2026年3月期連結業績に反映しております。

なお、現時点において、公表すべき追加の業績影響は認識しておりません。

また、本件が当社グループの事業計画に与える影響については現在精査中ですが、現時点ではその影響は限定的と認識しております。このため、本日公表の中期経営計画見直しには、本件の影響は反映しておりません。

本件に関しまして、株主・投資家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

以 上